

## ▲▽▲▽2022ミス日本「海の日」▲▽▲▽<sup>さつか</sup>属安紀奈さんが海の啓蒙活動

### 海で働く人たちに寄り添い 海・船の重要性を伝えたい

第54回ミス日本コンテスト2022（主催・一般社団法人ミス日本協会、後援・スポーツニッポン新聞社）が1月24日に東京都新宿区の京王プラザホテルで開催され、2022ミス日本「海の日」に山口県出身、モデルの属安紀奈さんが選ばれた

ミス日本「海の日」は、「海の日」の意義や海洋および海事産業の重要性を周知広報するとともに、海の安全啓蒙活動を行っている。属さんは、ミス日本「海の日」選出後、小型船舶操縦士免許を取得し、海事関係イベントに参加して海の大切さや海の安全をPRしている

### 斉藤鉄夫国土交通大臣を表敬訪問

3月14日、属安紀奈さんは2022ミス日本「水の天使」横山莉奈さんと一緒に、斉藤鉄夫国土交通大臣を表敬訪問した。

### 地元・瀬戸内海の美しさもPRしたい

ミス日本「海の日」の属さんは斉藤大臣から抱負を聞かれ「ミス日本『海の日』に選ばれた後に日本海事広報協会からいただいた資料を見て、海運をはじめとする海事産業が私たちの生活をとっても支えていることを知りました。私は山口県周南市の出身で、近くに徳山下松港があります。私たちの生活を支えてくれている海運業界で働く人々に寄り添いながら、海や船、港の大切さをPRしていきたいと思います。また、2月に小型船舶2級免許を取得しました。地元瀬戸内海の美しい海をボートで走り、その動画をSNSで発信して、海の魅力も伝えていきたいと思います」と語った。

### 海や船の広報活動に期待

斉藤大臣から属さんには「徳山下松港は重要港湾です。私は広島が地元ですが、瀬戸内海は素敵なおとこなので、観光地としてもその魅力を発信してほしい」と、ミス日本「海の日」の活動に期待が寄せられた。

また、斉藤大臣は「ここ2年はコロナ禍のため、式典やイベントの多くが中止となりましたが、この1年はコロナから回復して、お二人が前面に出て、海や水道の重要性を紹介してほしい」と伝えた。

### ウォーキングイベントBAYWALK YOKOHAMAに参加、景色を楽しんで歩く

昨年3月、横浜港みなとみらい21地区の中央地区と新港地区を結ぶ歩行者専用の女神橋が全面開通し、臨港パークから赤レンガ倉庫、大さん橋、日本郵船氷川丸まで、約5キロメートルのジョギング&ウォーキングコース「ベイウォーク横浜」が誕生した。

そして今年の3月26日、ウォーキングイベント「BAYWALK YOKOHAMA」が開催され、ミス日本「海の日」の属安紀奈さんも参加、女神橋から大さん橋の約3・5キロメートルを歩き海辺のウォーキングの楽しさをPRした。

イベント終了後、体力作りが趣味という属さんは、「横浜港の景色を眺めながらのウォーキングはとても楽しかったです。このようなイベントがあれば、また参加したいですし、

私の地元山口県周南市でも海を楽しみながらのイベントがあればいいなと思いました」と感想を語った。

\*\*\*\*\*プロフィール\*\*\*\*\*

**属 安紀奈さん●さっか・あきな**

山口県周南市出身。モデル。趣味はピラティスや自宅トレーニング。座右の銘は『みんなちがって、みんないい』。「多様性の重要性を発信したい」「地元に何か貢献できれば」と思い、ミス日本コンテストに応募。2020 ミス日本コンテストではファイナリストとなるも受賞を逃し、今回、2度目の挑戦でミス日本「海の日」に輝いた。

「海員だより」